

岩美病院すこやか相談室では、いろいろな相談をお受けしています。今回はその中から認知症に関するものを取り上げて、ご紹介したいと思います。認知症に関心のある方はご参考にどうぞ。今は関係ない方も、知っておかれると後々役に立つかもしれません。

●●● 認知症に関する相談あれこれ ●●●

相談1



夫が認知症ではないかと思うのですが、何科を受診したらいいですか？

まずはかかりつけの医師に相談してください。どこにもかかっていない場合は、神経内科、精神科、心療科等のある病院をご検討ください。病院によっては、初めて受診する場合は曜日・時間が指定されているところがあります。事前に電話などでご確認ください。すこやか相談室（広富）に聞いていただいてもお答えできます。



相談2



母が急におかしなことを言い出した。認知症だと思うので、あきらめるしかない。

急な変化にとまどわれ、心配されていることでしょう。ただ、変化が急な場合は「もう治らない」とあきらめる前に、早めの受診をお勧めします。確かにアルツハイマー型とか脳血管型など、脳が変化してしまって元に戻らない型の認知症は多いですが、治療によって症状がよくなる場合もあるからです。頭に水や血がたまって脳を圧迫したり、ビタミンやホルモンが足りなくなったりして認知症の症状が出る場合があります。そういう場合は、手術をしたり足りないものを補えばよくなる可能性があります。

また、昼間することがなくて寝ていたりすると、夜と昼が逆転して一日中寝ぼけたような状態になることがあります。その場合も薬を使って夜しっかり寝て、介護保険のサービス等を利用して昼間の活動を準備することで昼と夜のリズムが戻り、よくなる場合があります。

